

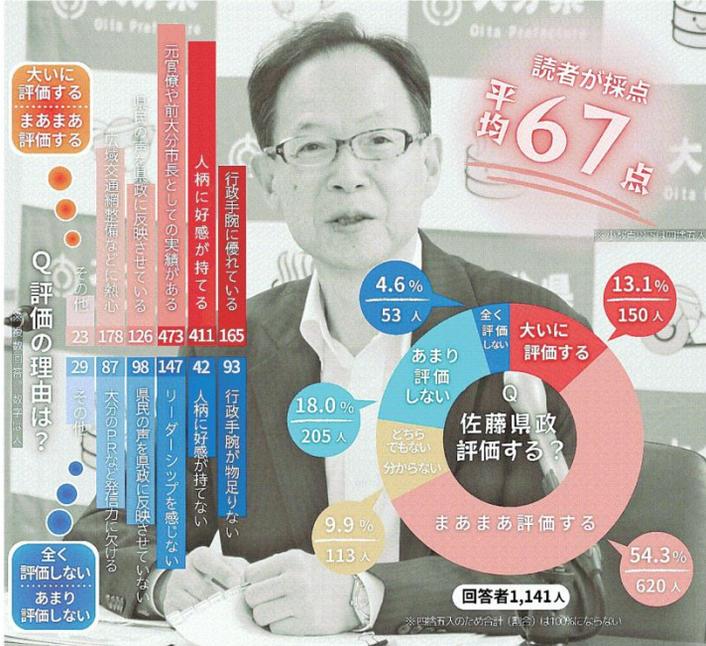


佐藤県政「67点」

就任1年アンケート 計1141人回答



Q 就任1年、佐藤樹一郎知事の評価は？



アンケートは11～15日、大分合同新聞社のウェブサイト「Gate」の会員を対象に実施。①佐藤県政1年の評価②その理由③知事として現段階での採点④県政への要望や提言などを尋ねた。回答者の年代は▽10代 56人▽40代 333人▽70代 1人以上。無作為抽出による世論調査ではなく、読者の意見・考えを募って紹介することを目的としている。

2人▽20代 218人▽50代 135人▽80代 17人▽90代以上 1人

15人▽30代 364人▽60代 17人▽90代以上 1人

広域交通網 人柄を評価

佐藤樹一郎大分県知事(66)は28日で就任1年となる。大分合同新聞社はウェブサイトで「Gate」のアンケート企画「聞くけん! みんなのGateリサーチ」で、佐藤県政1年の評価を聞いた。計1141人が回答。約7割が「大いに評価する」「まあまあ評価する」と答え、全員の採点は100点満点で平均67点だった。経験に基づく手堅い運営手腕、誠実な人柄を評する声が目立った。

(デジタル戦略部・大塩信)

中央とパイプある
「大いに評価する」と答えたのは150人(13.1%)。半数以上の620人が「まあまあ評価する」を選んだ。理由として「元官僚や前大分市長としての実績がある」「人柄に好感が持てる」が高かった。肯定的に見ている人の中でも、佐藤知事が注力する東九州新幹線など広域交通網整備への支持が目立った。

大分市の男性会社員(37)は、中央とのパイプがある。豊予海峡ルートなど独自の攻めの県政を進めている。100点満点を付けた上で「熊本県のように大企業への誘致」を望んだ。

就任後初めて本格的な編成に携わった新年度当初予

ビジョン、発信力に課題

算には、各分野別に幅広い施策を盛り込んだ。佐伯市の40代男性団体職員は「経済、福祉、教育など多方面でしっかりと方向性を見込んでいる」と判断した。

「変化ない」指摘も
「全く評価しない」「あまり評価しない」は合わせて258人(22.6%)。要因として「リーダーシップを感じない」が最多で3割を占め、「県民の声を県政に反映させていない」が続いた。前県政からの変化を感じないと指摘する意見も多かった。

広域交通網の推進には批判的な声も。宇佐市の50代女性パートは「少子化が進む中、新幹線整備などが進めば将来の負担が心配」、日出町の60代男性会社員は「もっと足元を見て、生活に直結する施策を」と指摘した。

他に「ビジョンや事業の必然性が見えない」「人口減に備え、実効性のある政策の検討を」「そろそろ独自色を出してもらいたい」といった注文もあった。

好スタート切った
自営業や会社員らに比べ、全体的に団体職員や公務員からの評価が高かった。

組織運営に詳しい日本文理大(大分市)の橋本堅次



ウェブ特
集ページ
はこちら

大分合同新聞社が今年1月に始めたGate会員限定の意識調査。さまざまな旬のテーマを取り上げ、その是非や見解を聞いて大分の民意を探っている。これまでホパークラフトの期待値や東九州新幹線の整備、大分トリニータの活躍、とりてと唐揚げの人気度を調べた。佐藤県1年の評価を求め、それぞれの特記事はGate(QRコード)に配信。

聞くけん! みんなのGateリサーチ



〔問①〕 佐藤知事を「まあまあ評価する」は半数を超えましたが、回答した1141人のうちの何人で、何%にあたりますか。

〔問②〕 「大いに評価する」「まあまあ評価する」を選んだ人が、最も評価する要因として選んだことは？

〔問③〕 佐藤知事のこれからに期待することを考えよう。